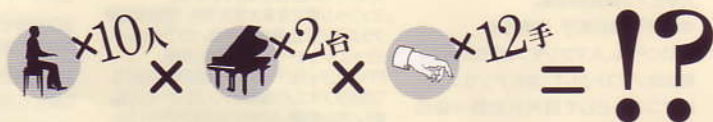


エボニー&アイボリーコンサート

第4回

神戸特別公演

# Pianist Meets PIANO



10人のピアニストが2台のグランドピアノを駆使し  
最大6名12手連弾のグランドピアノオーケストラの  
響きを奏でます。

 **神戸新聞 松方ホール**

2010.10.3 (日)

18:15開場 19:00開演

〈入場料〉大人3,500円(税込) 小人1,500円(税込)  
(中学生以下)

\*当日18:00より座席指定券とお引き換えさせていただきます。 \*未就学児童のこ入場はお断りいたします。

主催/神戸新聞文化財団 NPO法人アーティスト・アライアンス・アクティビティ  
協賛/株式会社ヤマハミュージック大阪 KINCHO 有心会奥田医院

お問い合わせ  
松方ホールチケットオフィス 078-362-7191  
ヤマハミュージック大阪 06-6211-8333  
NPO法人アーティスト・アライアンス・アクティビティ 06-6448-1888

曲目

\*曲目は変更となる場合がございます。  
予めご了承ください。

〔第1部〕〜ピアノ2台によるアンサンブル〜

- トッカータとフーガ ニ短調/J.S.バッハ(6人編成)
- ワルシャワ コンチェルト/アディンセル(4人編成)
- ヴォカリーズ op.34-14/ラフマニノフ(リチャード・アンダーソン編)(2人編成)
- 半音階的大ギャロップ S.219/リスト(4人編成)
- ポルカ「狩り」op.373/J.シュトラウス2世(6人編成)

〔第2部〕〜ピアノ2台とマンドリンのコラボ〜 (※林 秀茂編)

- 白い恋人たち 映画「白い恋人たち」のテーマ/フランシス・レイ(※)
- ひまわり 映画「ひまわり」のテーマ/ヘンリー・マンシーニ(※)
- 日曜日はダメよ 映画「日曜はダメよ」のテーマ/マノス・ハジダキス(※)
- くまんばちの飛行/リムスキー・コルサコフ
- シング/ジョー・ラポソ(※)
- 喜歌劇「地獄のオルフェ」より「天国と地獄」/J.オッフェンバック



〒650-0044  
神戸市中央区東川崎町1-5-7  
神戸新聞文化ビル4階  
TEL:078-362-7111 URL: <http://www.kobe-np.co.jp/matsukata/>

●交通のご案内

- 電車でお越し  
いただく場合  
JR「神戸」駅・市営地下鉄海岸線「ハーバーランド」駅より徒歩約10分  
「高速神戸」駅より徒歩約15分
- お車でお越し  
いただく場合  
神戸新聞文化ビル地下駐車場  
【営業時間】8:00~26:00 駐車料金(土・日・祝日)/30分~250円  
\*その他ハーバーランド地区内の駐車場をご利用ください。

「エボニー&アイボリー」とは、ピアノの黒鍵と白鍵を意味し、全ての人々が互いの個性や違いを超えて「音楽」を楽しもうとする願いを込めて、ポール・マッカートニー氏が楽曲を製作し全世界の人々に受け入れられてきました。この意思に共鳴し、アーティストたち自身が地域の全てのひとたちに「分け隔てなく音楽を楽しむ」機会を提供していきたいと考え実施する自主的なイベントです。

# Pianist Meets PIANO

エボニー&アイボリーコンサート



小倉 直子 Naoko Ogura

桐朋学園大学音楽学部卒業。  
エコー・ノルマル音楽院の演奏家資格を半年で取得し卒業。  
その後、パリ国立音楽院教授ピエール・サンカン氏の薫陶を受け、フランス国内外にて活動する。  
1981年大阪・毎日ホールに於いてデビューリサイタル。  
1983年秋山和慶氏指揮大阪フィルハーモニー交響楽団と協演。この成果により大阪市制定、第1回「咲くや、この花賞」を受賞。全日本学生音楽コンクール審査員。NPO法人、アーティスト・アライアンス・アクティビティ代表。



奥田 和代 Kazuyo Okuda

大阪音楽大学音楽学部器楽科ピアノ科卒業。  
4歳より遠藤一枝氏に師事。  
アダム・ビプロフスキー氏、アンドレ・ピクル氏、マイハルト・プリンツ氏来日時に受講する。卒業演奏会出演。  
H15年9月声楽とのジョイントコンサート開催。  
H16年12月チャリティコンサート出演(西宮市文化振興団・西宮教育委員会後援)。  
H18年2月モーツァルトサロン芦屋コンサート出演。



小笠原 順子 Jyunko Ogasawara

京都市立芸術大学卒業。  
バリ・エコー・ノルマル音楽院の演奏家ディプロムを最優秀で取得、特別賞受賞。  
PTNAピアノコンペティション金賞、吹田音楽コンクール審査員奨励賞、ユーロレジオン国際ピアノコンクールRavel賞、大阪シンフォニカー、ヤナーチェクフィル、ソフィア祝祭オーケストラ、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団と協演。  
ソロリサイタル、アンサンブル等出演多数。  
馬場節子氏に師事。  
大阪音楽大学講師。



加納 くみ子 Kumiko Kanou

大阪芸術大学演奏学科卒業。  
お茶の水女子大学教育学部ピアノ演奏学研究生修了。  
B・ヘッセ・ブコフスカ氏に師事。  
ウィーンにてA・インナー氏に師事。  
第3回JILA音楽コンクール第3位。  
第6回P.I.A. Japanピアノコンクール金賞受賞。  
ルーマニアにてトルグ・ムレシュ国立交響楽団定期演奏会に招聘され共演等、各地でオーケストラとの共演・ソロリサイタル・室内家と幅広く活躍。  
現代音楽にも積極的に取り組み、'09年には現代作品によるリサイタルで第64回文化庁芸術祭参加。  
大阪芸術大学非常勤講師。  
日本演奏連盟会員。  
日本ピアノ教育連盟会員。

今回、「エボニー&アイボリーコンサート」の主旨に共感し、音楽を通じて感動する機会を提供したいという出演者たちの紹介



北野 裕司 Yuji Kitano

兵庫県立長田高校卒業後ロシアに渡り、モスクワ国立音楽院ピアノ科及び同大学院を卒業。  
国際ホロヴィッツ記念ピアノコンクール第3位入賞。  
在学中よりロシア各地、ウクライナ、イスラエル、日本でリサイタルを開催する。これまでに森本敦子、中島和彦、E=リヒテル、S=ドレンスキー、N=ガヴリーロヴァ各氏に師事。  
現在、大阪音楽大学で後進の指導に当たるほか、京都市立芸術大学でロシアのピアノリズムに関する講義を行っている。



榊原 契保 Keiho Sakakibara

京都市立芸術大学、ポーランド国立音楽大学ピアノ研究科卒業。  
中西淑子、森川和子、田隅靖子、J.ストーンベル、A.マクシモフの各氏に師事。  
現在はソリストとして、またアンサンブルピアニストとして国内外の第一線のアーティストとの共演等、その足跡はアジア諸国、ドイツ、ポーランドと各地各所に及び、学校や病院などへの訪問演奏も行い、音楽を届ける活動に積極的に参加している。  
神戸常盤大学、関西国際大学各非常勤講師。



南 依里 Eri Minami

堀川音楽高校卒業後、渡独。  
ミュンヘン国立音楽大学卒業。  
ミュンヘン国立音楽大学大学院、[芸術演奏家クラス]ディプロム賞を得て卒業。クラウス・シルデ、ミヒャエル・シェーファー各教授に師事。  
PTNA ピティナピアノコンクール全日本大会第1位。  
'03年ラフマニノフ国際ピアノコンクール入賞。兼ディプロム賞受賞。'97年ドイツにてピアノリサイタル。  
帰国後、大阪センチュリー交響楽団、ワルシャワ国立フィルハーモニー・コンサートマスターと共演他、リサイタル、オーケストラ共演、室内楽共演等多数。  
ミュンヘン国立音楽大学主任教授の通訳。  
社団法人 クラブ関西ピアニスト。



井関 花 Hana Isaki

2007年、2008年ヤングピアニストコンサート金賞。  
2008年ピティナピアノコンペティションB級にて本選第1位、全国大会ベスト賞。  
2009年ピティナピアノコンペティションC級にて本選優秀賞。  
2009~2010年ショパン国際ピアノコンクール in ASIA 地区大会銀賞、全国大会銀賞、アジア大会入賞。  
7歳より芹澤文美先生に師事。  
現在、神戸海星女子学院小学校5年生。



風見 瑤子 Yoko Kazami

2000年生まれの10歳。  
3歳よりピアノを始め、6歳より芹澤文美先生に師事。  
ピティナコンペティション、ショパンコンクール in ASIA等に参加。  
全国大会にも出演。  
大好きなピアノをたくさんの人達に聴いて喜んで頂ける為、現在、夢に向かって勉強中です。



長戸 かおり Kaori Nagato

4歳よりピアノを始める。  
第7回P.I.A. JAPANピアノコンクールE部門本選入選。  
第19回日本ピアノ教育連盟ピアノオーディション奨励賞受賞。  
第7回大阪国際コンクールピアノ部門ジュニアコースファイナル入選。  
2009年いずみホールに於いて第23回ヤマハ夢のコンチェルトに出演。  
モーツァルト ピアノ協奏曲第20番を演奏。来る10月24日ドーンセンターに於いて第50回OMOジュニアコンサートに出演予定。  
加納くみ子氏に師事。  
現在、プール学院高等学校2年生。



## GUEST Kenzo Kumei

マンドリン 桑井 謙三

12才よりマンドリンを始め独学にて修得。  
1978年全国マンドリン独奏コンクール第1位。  
1980年NHK洋楽オーディション合格。  
1984年日本演奏家連盟推薦演奏会に出演。  
テレビ・ラジオ等にも多数出演し、独奏以外にも、カンツォーネ、日本歌曲等の伴奏者として活躍している。  
表現力豊かでダイナミックな演奏は、これまでのマンドリンという楽器のイメージを覆すもので、まさに日本を代表する数少ないプロフェッショナル・マンドリニストの一人である。  
また、後進の指導にも力を注いでいる。  
神戸音楽家協会会員。